

## 第 14 回 香川県糖尿病療養指導士看護ネットワーク 「Qの会」研修会のご案内

謹啓

皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび『第 14 回香川県糖尿病療養指導士看護ネットワーク Q の会研修会』では「災害時にそなえた糖尿病看護の在り方」をテーマに研修会を開催する運びとなりました。今回東日本大震災では、多くの糖尿病患者さんも被災され、災害時の糖尿病看護について日ごろからの取り組みが必要であると感じました。

慢性疾患をもつ人々は、平常時なら病気の自己管理や生活のなかでのセルフケアをその人なりに自立して行っています。しかし、いったん災害が起こると、いままでの生活が一変し、普通の生活を送ることができなくなります。つまり、生活の仕方そのものが治療である慢性疾患をもつ人々にとって、災害は生活の基盤を失うことを意味し、その人のセルフケア能力を低下させ、病状を悪化させることとなります。また、インスリンや内服などの薬物療法の継続が困難になりコントロールが悪化します。災害時、患者や家族の方々に対して、セルフケアや薬物療法の継続が出来るように、どのように療養指導をしておく必要があるのか、また災害時にどのような支援が必要とされるのかについて、体験者から学ぶことはとても大きな意味があると考えます。

今回は神戸の大震災で実際に被災者の支援活動に携わられた講師をお招きし、災害時の看護の在り方について学び、今後の療養指導に役立てていただければと考えています。多くの方のご参加をお待ちいたしております。

本研修会は糖尿病療養指導士「認定更新のための研修単位」＜第 1 群・第 2 群＞単位申請中です。

謹白

### 記

日 時： 2011 年 10 月 9 日(日)10:00～15:00

場 所： 香川大学医学部看護学科 3 階 305 教室(看護学科棟 3 階) 香川県木田郡三木町池戸 1750-1

定 員： 70 名

参加費：「Qの会」会員無料 非会員 2000 円

申込期限： 2011 年 9 月 16 日(金)必着

申込方法： はがきに氏名、施設名、会員・非会員、CDE の有無、職種(記入例別紙参照)を記入し、以下の宛先へお送り下さい。

〒763-8502 丸亀市城東町 3-3-1 香川労災病院 外来 吉川照美宛

\* 電話・FAX でのお問い合わせはお受けできませんのでご了承下さい。

### メインテーマ 『災害時にそなえた糖尿病看護の在り方』

#### 〈プログラム〉

9:30～9:50	受付	
9:50～10:00	オリエンテーション 開会の辞	総合司会 香川県立中央病院 看護師 木村 裕美 日本糖尿病教育・看護学会評議員 Qの会会長 宮武陽子
10:00～12:00	講演 「災害看護の基本的知識と要援護者(糖尿病)への看護」	講師 神戸市看護大学 療養生活看護学 准教授 池田清子先生 座長 とみおか内科クリニック 看護師 谷脇直美
12:00～13:00	休憩	
13:00～14:45	グループ演習・発表 『防災』をテーマに糖尿病教室の計画を立案してみよう	司会 とみおか内科クリニック 看護師 谷脇直美
14:45～15:00	総評・質疑応答	神戸市立大学 療養生活看護学 准教授 池田清子先生
15:00	閉会の辞	総合司会 香川県立中央病院 看護師 木村 裕美

共催 日本糖尿病教育・看護学会 テルモ株式会社

注意:研修会開始後 10 分以上遅刻した方は、単位更新のための参加証明書を発行できません